



# 災害における 学生ボランティア ガイドブック

第1版



Name

敦賀市立看護大学

監修 救急・災害看護研究センター



2020年4月1日発行  
敦賀市立看護大学  
監修 救急・災害看護研究センター  
〒914-0814  
福井県敦賀市木崎78号2番地-1  
TEL:0770-20-5500 FAX:0770-20-5548  
<http://tsuruga-nu.ac.jp/>



# 目次

I	災害における学生ボランティア活動とは？	……p1
II	活動に参加したいと考えている方へ	……p2
III	災害における学生ボランティア活動に参加してみよう	……p4
	1. 情報収集	
	2. ボランティア活動保険への加入	
	3. ボランティア活動に参加する場合の手続き	
	4. 災害における学生ボランティア活動に係る授業欠席の取扱い	
	○手続きの書類○	
IV	災害における学生ボランティア活動の基本的な心構え	……p6
V	自分の安全を守ること	……p7
	連絡・報告・相談	……p8
	○活動中、活動後の報告先○	
VI	サポート体制	……p9





# I 災害における学生ボランティア活動とは？



災害は、日常生活を脅かす出来事です。

ボランティア活動は、被災された方々の日常の暮らしを取り戻すために、お手伝いをする貴重な機会です。

看護の知識を生かしたり、環境を整えたりしながら、社会のために取り組み、自分自身を成長させましょう。

東日本大震災において、ボランティア活動した看護学生の感想では、〈被災の実情の理解〉、〈ボランティア活動を通じた出会い〉、〈触れ合いで得られた喜び〉、〈ボランティアの意義を実感〉、〈看護の視点からの気づき〉、〈看護学生ならではの活動で得た充実感〉、〈看護学生としての成長を実感〉<sup>1)</sup>が報告されています。

1) 富澤ら：東日本大震災ボランティア活動による看護学生の学びに関する検討.東北福祉大学研究紀要.38.2014.p199-219

## 1. 災害における学生ボランティア活動

敦賀市立看護大学の学部・大学院・専攻科の学生による**自発的な意思に基づく活動**です。  
誰かに強制されるものではなく、自分の考えで参加する活動です。

## 2. ボランティア活動の対象となる災害

国内における大規模な水害、地震、火災など、**被災された方の生活に長期的な影響を及ぼす災害**を対象とします。





## Ⅱ 活動に参加したいと考えている方へ



災害におけるボランティア活動は、いろいろなニーズに対応することが求められます。

日常の暮らしを考えて、被災された方々のニーズに合わせて、みんなで協力しながら取り組みましょう。

### 1. 具体的にどんな活動をするの？

災害の種類や季節、時期など考えて、被災された方のニーズに合わせた活動です。

お掃除や着替えなど、日常のちょっとしたこと、季節の行事（イベント等）のお手伝い、健康チェックなどがあります。

### 2. 1年生でも役に立つのでしょうか？



相手のことを尊重しながら、小さなことからでも、お手伝いできます。専門的な知識が必要な場合は、募集の際に、お知らせします。





### 3. 災害ボランティアの限界

1人のボランティアができることは限られています。例えば、活動の期間や内容にも限界があります。相手のニーズに合わせて、ボランティアとしてできること、できないことを考えることが必要です。また、今日から明日へと継続した活動になるように、周囲の人との協力、報告や連絡、相談が不可欠です。

### 4. 自分の気持ちを大事に

無理はしない、自分の気持ちを整えておきましょう。ボランティアとして活動できるように、日頃から、周囲の人の理解を得ておいたり、準備をするなど心がけましょう。

### 5. 日頃から取り組もう



日頃から、心身を整え健康な生活を心がけましょう。

### 6. 被災地に行くだけが支援ではありません

例えば、募金や、支援物資の提供、被災地の農産物購入などできる支援もあります。





# Ⅲ 災害における学生ボランティア活動に参加してみよう



## 1. 情報収集

学生ボランティアの募集は、大学のルールに基づいて、救急・災害看護研究センターから情報発信します。

情報源として利用しましょう。

災害ボランティア活動を希望する学生は、事前に、災害ボランティア活動への登録を申請※<sup>1</sup>しておけば、情報を受け取ることができます。

※<sup>1</sup>災害ボランティア活動登録申請書は総務企画課へ提出してください。

災害の情報は、テレビやインターネットなどから得ることができます。

しかし、災害の超急性期には、情報が集まらなかったり、情報が錯綜することがあります。

## 2. ボランティア活動保険への加入

安心して活動するためにボランティア活動保険に加入することが必要です。現地の災害ボランティアセンターで加入する場合があります（自己負担）。

## 3. ボランティア活動に参加する場合の手続き

参加を希望する学生さんは、災害ボランティア活動届に必要事項をすべて記載して、教務学生課へ提出してください。

大学では、以下のことを踏まえて、募集の情報発信や活動参加を決めます。

- (1) 活動の依頼先が信頼できること
- (2) 活動等の安全性が確認されること
- (3) 活動等の内容
- (4) 活動期間
- (5) 加入する保険の補償内容
- (6) その他、活動等の妥当性

## 4. 学生のボランティア活動に係る授業欠席の取扱い

ボランティア活動で、授業を欠席した場合、原則、欠席扱いになります。補講等はいりません。





# 手続きの書類



## 災害ボランティア活動登録申請書



(様式第1号)

災害ボランティア活動登録申請書

令和 年 月 日

教習市立看護大学  
救急・災害看護研究センター長 殿

(申請者)  
所 属 \_\_\_\_\_  
学籍番号 \_\_\_\_\_  
氏 名 \_\_\_\_\_

下記のとおり、災害ボランティア活動登録をいたします。

記

※自筆にて記入してください。

本人の連絡先 (携帯電話番号およびEメールアドレス)	
保護者(保証人)の緊急連絡先	
保険の加入状況 (○または記入)	加入済み保険の名称: 異人で加入している保険があれば記入:

【特記事項】  
ボランティア活動で発生した直接的、間接的、その他の損害については、大学は一切責任を負いません。

※以下は、保護者(保証人)の方が記入してください。

上記のとおり災害ボランティア活動に登録することに同意します。

令和 年 月 日

保護者(保証人)氏名 \_\_\_\_\_ (署名) [捺印] \_\_\_\_\_

## 災害ボランティア活動届

災害ボランティア活動届

年 月 日

教習市立看護大学長 殿

学籍番号: \_\_\_\_\_  
氏 名: \_\_\_\_\_ 印

私は、下記のとおり災害ボランティア活動に参加します。参加にあたっては、常に安全を心がけて行動します。活動中に生じた事故については自己の責任において処理します。

記

活動地域・場所	
活動期間	自 年 月 日 至 年 月 日
活動内容	
電話番号	本 人: _____ 緊急連絡先: _____ (氏名・続柄: _____)
欠席する科目 (全て記入)	
保護者(保証人) 承諾欄	承諾 ( 済 ・ 未済 ) 氏名: _____ 続柄: _____

※事故が生じた場合は、速やかに教務学生課に報告すること。  
※授業を欠席する場合は、欠席届を科目担当教員に提出すること。  
※ボランティア活動で発生した直接的、間接的、その他の損害については、大学は一切責任を負いません。



## Ⅳ 災害ボランティアの基本的な心構え



### 【準備】

#### 1. 自己完結

服装：身軽・安全・着脱しやすいもの、ボランティアだと分かるもの  
 生活必需品（寝袋・食料・水 等）  
 活動必需品（地図、連絡手段、記録用紙等）

#### 2. 災害の種類、季節に応じた準備

夏なら、熱中症対策 着替えや水分補給できるもの  
 冬なら、防寒着やカイロなど  
 水害なら、軍手やマスク、ゴーグルなど

支援に伺って、  
 迷惑をかけない！

#### 3. 学業や家族など、周りの状況の調整

学業に支障が生じないか確認しましょう。  
 日頃から、保護者や周りの理解を得て、協力してもらえるようにしましょう。

#### 4. 情報収集

事前の情報から、準備するものを追加しましょう。  
 例えば、子供たちと遊ぶ活動支援なら、手遊びのできるものを用意する。

### 【活動中】

#### 1. 自己紹介をしましょう

被災者の方、一緒に活動する方など、お互いに  
 信頼関係をつくるための第一歩です。

#### 2. 一緒に考える姿勢

被災者の声に耳を傾けることが、気持ちを  
 支えることになります。  
 被災者の方が、話したくないことを聞かない。  
 質問攻めや安易に“大丈夫”など軽率に答えたり、約束できないことを  
 伝えることは、信頼を裏切ることになります。



#### 3. 一人で悩まない

自分から声を出したり、みんなで声をかけあいましょう。

#### 4. 活動中に知り得た個人情報の取り扱い

SNSやメールなど、個人情報の書き込みは絶対にしてはいけません。  
 何気なく友達と大声で被災者のことを話しているところを、他の被災者が  
 聞いた時、どんな気持ちになるでしょう。





## V 自分の安全を守ること



### 1. 安全第一

第一に、自分自身の安全を考えましょう。

無理をしてケガをしたり、病気になることは、避けましょう  
単独での勝手な行動は、危険ですから注意しましょう。

第二に、自分の能力に合わせた活動を心がけましょう。

専門的な知識がない場合は、協力者を求めることが大事です。

例えば、一人で移動介助したら対象の方にけがをさせてしまう等、  
知識や経験、自信がない場合は、一人で無理をせず協力者を求めることが、  
結果的に支援につながります。

### 2. 活動期間の考え方

貴方の日常生活に支障が出るようなボランティア活動は避けましょう。

活動期間を守り、また、状況によっては関係者に相談した上で短縮しても構いません。

活動中は、被災者のために活動することでやりがいを感じ、疲れを感じない人もいます。しかし、心身は疲労しています。

貴方にできることは、活動を次の支援者につなげるために、連絡、報告をすることです。

#### 【活動～活動後～数カ月】

### 1. 活動を振り返ろう

定期的に活動を振り返る機会は大切です。

関係者やボランティア同士などとの話し合いは、反省とともに自分の活動の意味を考え、視野が広がります。

### 2. 自分の気持ちに正直でいい

自分だけの殻に閉じこもると、心身共に疲弊します。

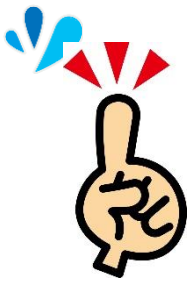
例えば、活動が不完全だったと落ち込んでいても、同じ思いを持っている人と話をしたり、関係者に相談することで、不完全ではない活動の意味が見つかることもあります。

自分の気持ちを正直に表現することは、恥ではありません。

### 3. 自覚していない心の声に気づいた時

活動中は自覚していなかった心の状況に、まれに、数カ月たってフラッシュバックが起こり辛くなることがあります。誰もが大変な状況に立たされると起きることです。時間が経過していても、相談しましょう。





# 報告

# 連絡

# 相談

1. 学生がボランティア活動に参加する場合は、事前に 学生から各自の保証人へ連絡を取り、参加の承諾を得ましょう。  
保証人の承諾がない場合は活動できません。
2. 活動中、適宜センター（下記）に状況を報告しましょう。センターは、活動状況によって直ちに活動を中断する等、安全をサポートします。
3. 活動終了後、活動の結果をセンターに報告しましょう。
4. 活動後に気分が落ち込んだり体調が悪くなった場合、早めに相談しましょう。

## 【連絡先】

敦賀市立看護大学

救急・災害看護研究センター

TEL：0770-20-5500 FAX：0770-20-5548

メールでの連絡先は、その都度お知らせします。





## VI サポート体制

- ♡ 災害における学生ボランティア活動は、災害発生時に、大学の届け出のもとに行う体制での活動です。
- ♡ 災害における学生ボランティア活動に参加する学生の生命の安全を確保できない場合は、参加を許可しません。
- ♡ 教職員は、ボランティア活動が自発的なものであることを尊重し、災害における学生ボランティア活動への参加が強制的に行われることがないように配慮します。
- ♡ 救急・災害看護研究センターの教職員は、学生の皆さんが、円滑に活動できるように、支援を適宜行います。

### Memo







災害における  
学生ボランティアガイドブック

